

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 郡山市立桜小学校 】

| | |
|--------------------|---|
| 1 実践テーマ | V |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | 全 学 年 (455名) 教 職 員 (32名) |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体育、生活・総合)</p> <p>② 行事名 (オリパラ教育を学ぼう)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 (あいさつ運動)</p> |
| 4 目 標 (ねらい) | オリンピックによる授業を通して、スポーツの楽しさやスポーツに取り組む姿勢（心構え、態度）について知り、仲間とともに主体的に取り組む態度や公德心の育成・向上を図る。 |
| 5 取組内容 | <p>① 事前指導 各学級「郷土のアスリートについて」</p> <p>② 福島県三春町出身 ウェイトリフティング67kg級 日本記録保持者 近内 三孝 選手</p> <p>自己紹介後、ウェイトリフティング競技を始めたきっかけや「スナッチ」「クリーン＆ジャーク」といった競技ルールなどについてお話をいただいた。さらに、100kgのバーベルを持ち上げるデモンストレーションも行った。</p> <p>また、児童代表からの質問</p> <p>についても、一つ一つ丁寧に答えてくださった。</p> <p>最後に、応援団の指揮のもと、全校生から、元気いっぱいのエールを送り、とても有意義な時間を過ごすことができた。</p> |



| | |
|---------------------------------|---|
| <p>6 主な成果</p> | <p>子どもたちにとって、オリンピック候補選手はヒーローである。最初は、ウエイトリフティングという競技を知らなかった子どもたちも、近内選手の体格から、あんなに重い物を持ち上げることに對しての驚きとともに、尊敬のまなざしでデモンストレーションを含めたお話をしっかり聞いていた。そして、応援するという形を全身と声を使ってエールを送ることができた。会終了後も興奮がおさまらず、最後は全校生でお見送りまですることとなった。</p> |
| <p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p> | <p>今回は、子どもたちにとって、なじみのない競技という観点からウエイトリフティング競技に着目した。 また、本市において、三宅道場があり、全日本級の選手が合宿するということから、ぜひ、本校児童に応援させたいという願いのもと、関係機関の協力により企画が実現した。</p> |
| <p>8主な課題等</p> | <p>アスリートの来校していただく日程調整に苦労した。 子どもたちにどのようにすれば、興味関心を持たせることができるかなど、事前に高学年についてはDVD視聴などを行ってきた。</p> |
| <p>9来年度以降の実施予定</p> | <p>2年間の推進校としての実績を生かし、さらに、スポーツに親しむ活動を続けていきたい。 また、東京オリパラ2020が実際に行われるということで機運を高めていくこと。高学年については、6月頃に陸上教室を開催したいと考える。</p> |